

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

## 2020年 第25週（6月15日～6月21日）

### 今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

### 定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少」

第25週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は649例であり、前週比5.0%増であった（2019年 第25週 4,336例、前年比 85.0%減）。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性耳下腺炎・流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.92、0.55、0.42、0.13、0.08、0.08である。

感染性胃腸炎は前週比15%増の377例で、南河内3.00、中河内2.85、大阪市南部2.44、泉州2.20、豊能1.86であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は12%減の83例で、大阪市東部0.93、中河内0.80、三島0.76、北河内0.54、堺市0.39である。

手足口病は44%増の26例で、大阪市北部0.36、北河内0.35、堺市0.17、南河内0.13であった。

流行性耳下腺炎は23%増の16例で、南河内0.19、泉州0.15、中河内0.10、豊能0.09、北河内0.08である。

流行性角結膜炎は20%減の4例で、北河内0.33、南河内0.25、泉州0.17であった。

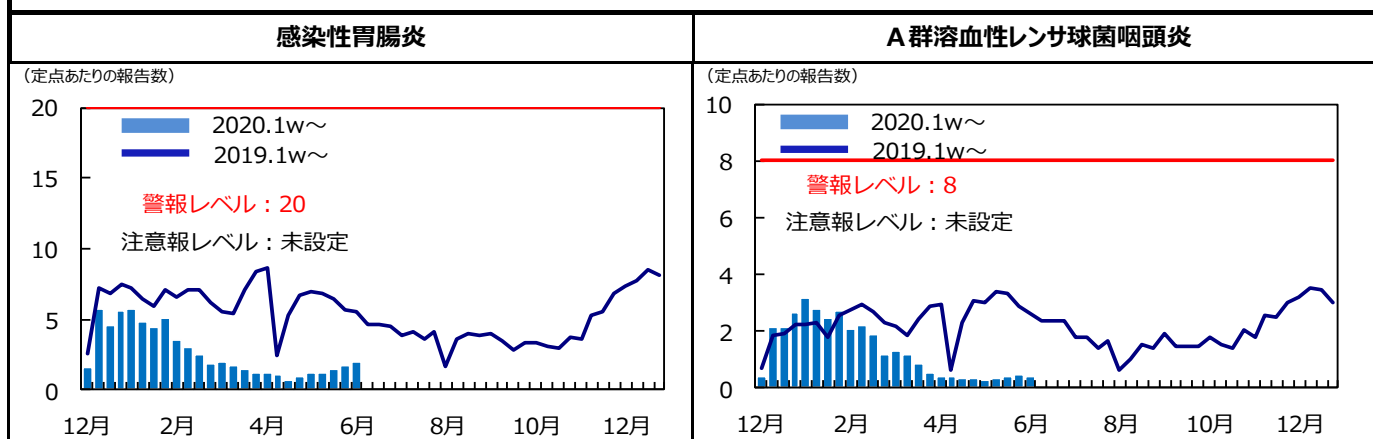


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2020年 第25週6月15日～6月21日）

第25週の順位	第24週の順位	感染症	2020年 第25週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第25週の 定点あたり 報告数	2020年第25週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.92	15%増	5.51	10-14歳、20歳以上_14%
2	2	突発性発しん	0.55	9%減	0.44	1歳_49%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	12%減	2.59	4歳_23%
4	5	手足口病	0.13	44%増	9.15	2歳_27%
5	8	流行性耳下腺炎	0.08	23%増	0.05	6歳_38%
5	4	流行性角結膜炎	0.08	20%減	0.42	20歳以上_100%

（突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。）

## 第25週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（手洗いや咳エチケットなど）の徹底を

### 全数把握感染症

#### 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」、3月11日に「世界的大流行（パンデミック）」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発出され、大阪府は感染拡大警戒地域に指定されたが、5月21日に解除された。自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大阪モデルをふまえ、6月1日以降は、全ての施設の休止要請が解除された。

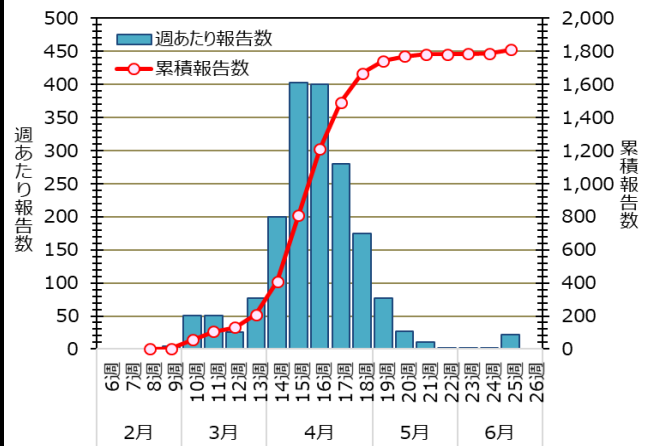
これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日（通常 5～6日）であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)

[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

#### 大阪府における新型コロナウイルス感染症の発生状況



緊急事態宣言(4/7-5/21)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。

[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

表 2. 大阪府全数報告数（2020年 第25週6月15日～6月21日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。）

疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	8		2	1		3	1		1	34
4類感染症 A型肝炎	1								1	5
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1							1	46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1						20
	水痘（入院例）	1		1						6
	梅毒	14	1	1				1	11	443
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	22									1809
結核 (2020年4月分)	結核 新登録患者数：96名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 37名) (府内累積報告数 493名、内 肺・喀痰塗抹陽性 181名)									

新型コロナウイルス感染症の集計は、6月15日から6月21日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

(2020年6月23日 集計分)